

さいたま市美園地区における実装に向けたサービス検証やファイナンスモデル検討

AI オンデマンド交通サービス実証〈第2期〉2021年12月より実施

国土交通省「スマートシティモデルプロジェクト」に係る実証調査

さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム（埼玉県さいたま市、会長：一般社団法人美園タウンマネジメント）では、国土交通省「スマートシティモデルプロジェクト」に係る実証調査の一環として、都市開発の進むさいたま市美園地区においてAI オンデマンド交通サービスの第2期実証運行を2021年12月から2022年2月にかけて実施し、実装に向けた改良サービス検証やファイナンスモデル構築検討等を行います。

さいたま市の“副都心”の1つ「美園地区」では、埼玉高速鉄道線「浦和美園駅」を中心に土地区画整理事業を核とした新市街地づくりが進行中ですが、まちの発展・成熟に伴う人口・土地利用等の変化や、新型コロナ危機も契機に一層の多様化が見込まれるライフスタイルや地域ニーズ等に柔軟に対応しながら、郊外住宅地に典型的な過度な自家用車依存から脱却し、低環境負荷で、誰もが移動しやすい域内交通体系の構築が重要なまちづくり課題となっています。

そこで、市内のスマートシティ施策の推進を目指す「さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム¹」では、既存交通を補完し、多様な地域ニーズに柔軟に応えながら〈脱クルマ依存型生活行動〉を支える移動手段として、AIシステムを用いたオンデマンド交通サービスの第1期実証運行を2021年3～4月に実施いたしました。この度、その第2期実証運行を2021年12月13日から2022年2月13日にかけて実施いたします。

第1期実証運行では、AI オンデマンド交通サービスに関する相乗り輸送や予約アプリ活用等に係る地域受容性が一定程度確認され、また利用履歴分析からは、〈仕事〉よりも〈私事〉での利用が多い様子や、自家用車からの手段転換に寄与する可能性等が把握されました。その一方、サービス実装に向けては、利用者数増加による運賃収入増や、運賃収入以外の収益源の確保策など、事業モデルの確立が課題としてあがりました。

そこで第2期実証運行では、より一層利用シーンに直結したサービス設計等による利用者数増加（潜在ニーズへのアプローチ、利用頻度の増、行動変容促進等）を狙った施策の試行・検証を行い、また並行して、サービス実装時のファイナンスモデル構築に向けた検討・調査を実施いたします。

今回の第2期実証運行での各種検証を踏まえ、郊外住宅地におけるAI オンデマンド交通サービスの実装モデルについて検討を深めるとともに、官民連携でサービス実装に取り組んでまいります。



▲第1期実証運行時の様子

AI オンデマンド交通サービス実証実験 第2期「みそのREDタクシー」実施概要

■実証サービス概要（予定）

| 期 | 第2期 | (比較)第1期 |
|------|---|------------------------|
| 実証期間 | 2021年12月13日(月)～2022年2月13日(日) (12月29日～1月5日は運休) | 2021年3月29日(月)～4月25日(日) |
| 運行時間 | 月曜～金曜 7:00～21:00 土曜/祝日 9:00～21:00 日曜 9:00～18:00 | 毎日 8:00～18:00 |
| 運行範囲 | 浦和美園駅周辺（乗降場所約40箇所） | 同左 |
| 運行車両 | 運転手除く6人乗り（平日1台/土日祝2台） | 運転手除く6人乗り（毎日2台） |
| 予約方法 | スマートフォンアプリもしくは電話 | スマートフォンアプリのみ |
| 乗車予約 | 10分後～翌日の乗車予約（左記の範囲で出 | 乗車当日の乗車予約（「今すぐ」・ |
| 可能範囲 | 発希望日時もしくは到着希望日時を任意選択） | 「10分後」・「1時間後」から選択） |



▲実証サービスロゴ
(車両や乗降場所の目印等で使用)

■ 第2期実証運行における主な検証項目等（予定）

| 狙い | 施策 | 内容 |
|------------------------------------|----------------------|--|
| 延べ利用者数の増加 （ユニークユーザー数・一人当たり利用頻度） | ニーズに応じた乗降場所・運行時間等の改善 | ・東川口方面（南方面）に乗降場所を追加 ・買物・送迎等の住民目的地に乗降場所を設置 ・運行時間拡張、乗車予約可能範囲拡張（翌日まで） |
| | 利用頻度増に向けた定額制等の試験導入 | ・定額乗車券・1日周遊券の販売（アプリまたは窓口） |
| | インセンティブ付与による行動変容促進 | ・地域ポイント等による乗車インセンティブ付与 |
| | スマートフォン利用不得手層の利用支援 | ・アプリ登録等個別相談会の開催（計4回・予定） ・電話での乗車予約の試験導入（UDCMi ⁱⁱ にて受付） |
| 実装時のファイナンスモデル案構築 | 運賃収入以外のサポーター獲得 | ・施設・店舗等の協賛スキーム検討及び意向の把握による試算 |



▲乗車予約アプリ「MONET」のイメージ



▲チケットアプリ「SmartWallet」のイメージ

■実施体制

| | |
|------|--|
| 主 催 | さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム（美園地区プロジェクトチーム ⁱⁱⁱ ） |
| 車両運行 | （株）つばめタクシー（埼玉県乗用自動車協会会員） |
| システム | MONET Technologies(株) |
| 協 力 | PaylessGate(株)、美園タウンマネジメント協会、みその都市デザイン協議会 |
| 実証実験 | （一社）美園タウンマネジメント、さいたま市浦和東部まちづくり事務所 |
| 事務局 | 〔事務局支援〕KPMGコンサルティング(株) |



▲実証案内ページ
（UDCMi 公式サイト内）

※本実証実験は、国土交通省令和3年度「スマートシティモデルプロジェクト」の一環として実施いたします。

※新型コロナウイルス感染症流行状況等により、サービス内容等が一部変更となる場合がございます。

※その他詳細については、別紙案内チラシもしくは UDCMi 公式 Web サイト内の実証案内ページ（<https://www.misono-tm.org/udcmi/info/news/13448.html>）をご参照ください。

- i **さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム**：官民連携によりビッグデータやAI、IoT等の先進技術を活用した事業に取り組むことで、市民サービスの向上と持続可能なまちづくりの実現を図ることを目的に、2020年1月に設立（会長：（一社）美園タウンマネジメント／事務局：さいたま市）。国土交通省「スマートシティモデル事業」に係る取組を軸に、さいたま市大宮・さいたま新都心地区および美園地区をモデル地区としてスマートシティ施策の推進に取り組んでいる（18団体加盟：2021年11月末時点）。特に美園地区では、商業・業務機能の集積する大宮・さいたま新都心地区とは対比的に、鉄道駅を拠点に住居系土地利用の進展する市街地のモデルケースとして、施策検討・試行検証を推進している。
- ii **アーバンデザインセンターみその [UDCMi]**：さいたま市美園地区における市民・行政・民間企業・大学等専門機関など多様な主体の連携を促進させ、新たなまちづくりプロジェクトを構想・事業化・発信していくためのまちづくり拠点施設として、2015年10月に埼玉高速鉄道線「浦和美園駅」西口に開設。
【Website】<https://www.misono-tm.org/udcmi/>
- iii **美園地区プロジェクトチーム構成メンバー**：イオンリテール(株)、浦和レッドダイヤモンド(株)、埼玉スタジアム2002公園管理事務所、埼玉高速鉄道(株)、国際興業(株)、（株）つばめタクシー、MONET Technologies(株)、KPMGコンサルティング(株)、（一社）美園タウンマネジメント、さいたま市、埼玉大学〈アドバイザー〉、国土交通省埼玉運輸支局〈オブザーバー〉、埼玉県警察浦和東警察署〈オブザーバー〉

《この件についてのお問い合わせ先》
一般社団法人美園タウンマネジメント（担当：岡本）
Phone. 048-812-0301 E-mail. info@misono-tm.org